

別表第3 教員免許状取得に必要な教職のための科目

- ・「科目区分」欄についての詳細は、教職課程の手引きを参照すること。
- ・●印は必修科目、▲印は選択必修科目、無印は選択科目を表すが、備考も併せて確認すること。
- ・網掛けの各教科の指導法に関する科目（「〇〇教育の理論と方法A、B」）については、取得しようとする免許教科ごとに中学校一種の場合は8単位（A・B両方）、高等学校一種の場合は4単位（A・Bいずれか）以上習得しなければならない。

第一欄	教科及び教職に関する科目	右項の各科目に含めることが必要な事項	授業科目名	標準履修学年および単位数				計	授業形態	必修選択区分	備考
				第1学年	第2学年	第3学年	第4学年				
第二欄	教科及び教職に関する科目	教科に関する専門的事項 各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	別表第1を参照のこと				20				
			数学教育の理論と方法A			4		4	講義	●	高1種免はいずれか1科目必修
			数学教育の理論と方法B			4		4	講義	●	
			理科教育の理論と方法A			4		4	講義	●	高1種免はいずれか1科目必修
			理科教育の理論と方法B			4		4	講義	●	
			技術教育の理論と方法A			4		4	講義	●	
			技術教育の理論と方法B			4		4	講義	●	
			情報教育の理論と方法A			4		4	講義	▲	いずれか1科目選択必修
			情報教育の理論と方法B			4		4	講義	▲	
			工業教育の理論と方法A			4		4	講義	▲	いずれか1科目選択必修
			工業教育の理論と方法B			4		4	講義	▲	
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) ・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 ・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 ・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育原論	4				4	講義	●	
			教育史			4		4	講義		
			現代教職論	2				2	講義	●	
			学校経営論			2または2		2	講義		
			教育法規			2または2		2	講義		
			教育心理学	2				2	講義	●	
			特別なニーズ教育入門	1				1	講義	●	夏期集中
教育課程論	1				1	講義	●	夏期集中			
第四欄	徒道指導、総合的相対的学習に関する科目	道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) ・生徒指導の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 ・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	道徳教育の理論と方法		2			2	講義	●	中1種免のみ必修 高1種免は「第六欄」選択科目
			総合的な学習の時間の理論と方法	1	1			1	講義	●	※Q3またはQ4
			特別活動の理論と方法			2		2	講義	●	
			教育工学			2		2	講義		
			教育方法論(情報通信技術の活用を含む)			2または2		2	講義	●	
生徒指導論(教育相談及び進路指導を含む)			4		4	講義	●				
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習 教職実践演習	教育実習指導			1		1	演習	●	
			教育実習A				2	2	実習	●	
			教育実習B				2	2	実習	●	中1種免のみ必修
			教職実践演習(中学校高等学校)				2	2	演習	●	
第六欄	大学が独自に設定する科目		社会教育	2※				2	講義		※前期及び集中
			道徳教育の理論と方法		2			2	講義		高1種免のみ「第六欄」に分類